

長野県社保協ニュース <18-6>

2013年9月27日(金) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

<http://www.n-syaho.com/> E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

生活保護基準額引き下げに反撃

「なぜ引き下げるのか」

県生連など

9/17不服審査請求を県知事に一斉提出



生きるための最後のセーフティネットである「生活保護」の基準額が8月から切り下げられたことに県内の受給者が異議有りとなり立ち上がりました。

9月17日、県庁で不服審査請求を県生連などの受給者62人が提出しました。請求者たちは、引き下げによって食費を削るしかない、自立が遠のくなど県側に訴えました。県は基準引き下げに「生の声」を聞かしていただいたと応じました。(写真：左)

請求者たちは、不服審査請求書提出後県庁で記者会見を開き、思いを語りました。(写真：右)

今回、勇気を振り絞った審査請求提出は670億円生保予算を削減する政府の計画に立ち向かう大きな一歩となりました。(県生連大久保事務局長寄稿)

長野県社保協は、こうした当事者の勇気ある行動に連帯し、ともにたたかう決意です。



貧困から子どもと障がい者を守る県民シンポジウム開催目前

ご存じでしょうか？ 子どもの貧困の連鎖、障がい者の生活実態。重い医療費と教育費負担。

貧困から子どもと障がい者を守る 県民シンポジウム

人にやさしい社会めざして

入場無料

どなたでも参加できます。
予約不要・要約筆記あり。
随時保釋庫あり。

2013年10月6日(日) 午後1時～4時
松本市・浅間温泉文化センター大会議室

松本市浅間温泉 2-6-1 TEL0263-46-2654 会場・駐車場 裏面

■基調講演 村上 晃 弁護士(生活証上げ実現長野県連協代表)

■5名のシンポジスト

- コーディネーター/和田 浩(福祉会病院副院長・小児科医師)
- 当事者(子どももつ難、障がい者) ●医療関係者(ケースワーカー)
- 教育関係者(中学校事務職員) ●マスコミ関係者(執筆中)

■フロアからの自由発言

